

2011年3月期 第2四半期決算説明会

2010年11月11日(木)

日本ハム株式会社

目 次

1. 2011年3月期 第2四半期連結業績の総括
2. 2011年3月期 下期以降の見通し
3. 2011年3月期 第2四半期財務データ

2011年3月期 第2四半期連結業績の総括

1. オペレーティング・セグメント情報 第2四半期
2. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部
3. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部
4. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部
5. 海外 所在地別業績状況

◆オペレーティング・セグメント情報【2011年3月期 第2四半期(7月～9月)】

【売上高】

(単位:百万円)

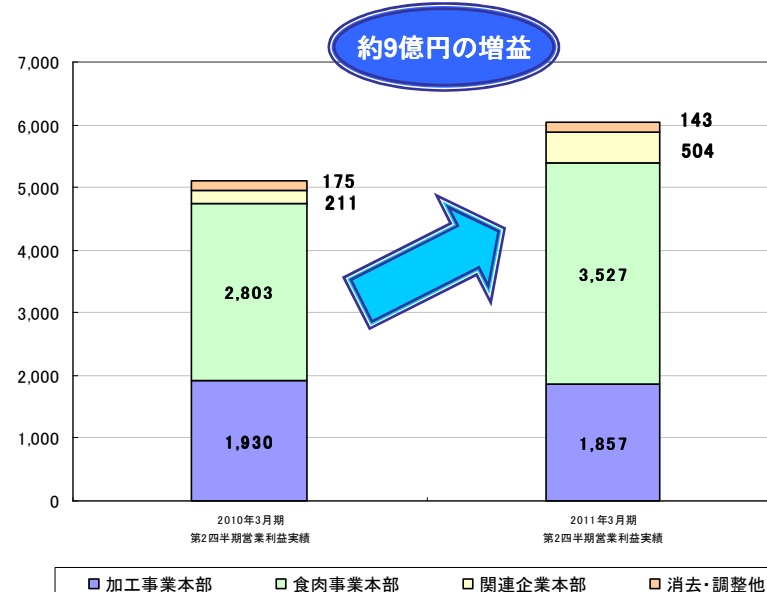


(単位:百万円・%)

7月～9月実績	2010年3月期 第2四半期 売上高実績	2011年3月期 第2四半期 売上高実績	前年比	前年差
加工事業本部	82,000	84,478	3.0	2,478
食肉事業本部	151,509	159,529	5.3	8,020
関連企業本部	33,253	33,296	0.1	43
消去・調整他	△ 28,320	△ 32,753	-	△ 4,433
連結合計	238,442	244,550	2.6	6,108

【営業利益】

(単位:百万円)



(単位:百万円・%)

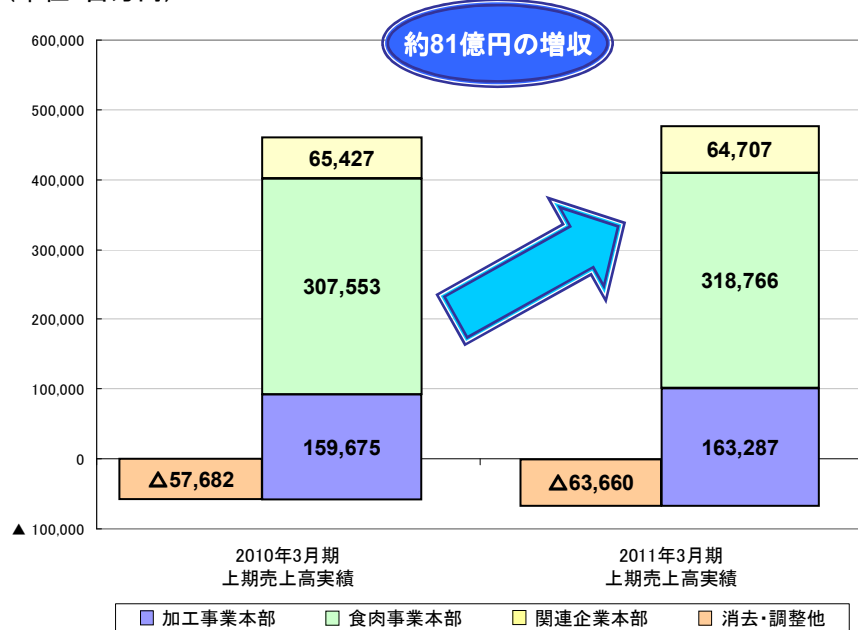
7月～9月実績	2010年3月期 第2四半期 営業利益実績	2011年3月期 第2四半期 営業利益実績	前年比	前年差
加工事業本部	1,930	1,857	△ 3.8	△ 73
食肉事業本部	2,803	3,527	25.8	724
関連企業本部	211	504	138.9	293
消去・調整他	175	143	-	△ 32
連結合計	5,119	6,031	17.8	912

※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。

◆オペレーティング・セグメント情報【2011年3月期 上期累計(4月～9月)】

【売上高】

(単位:百万円)

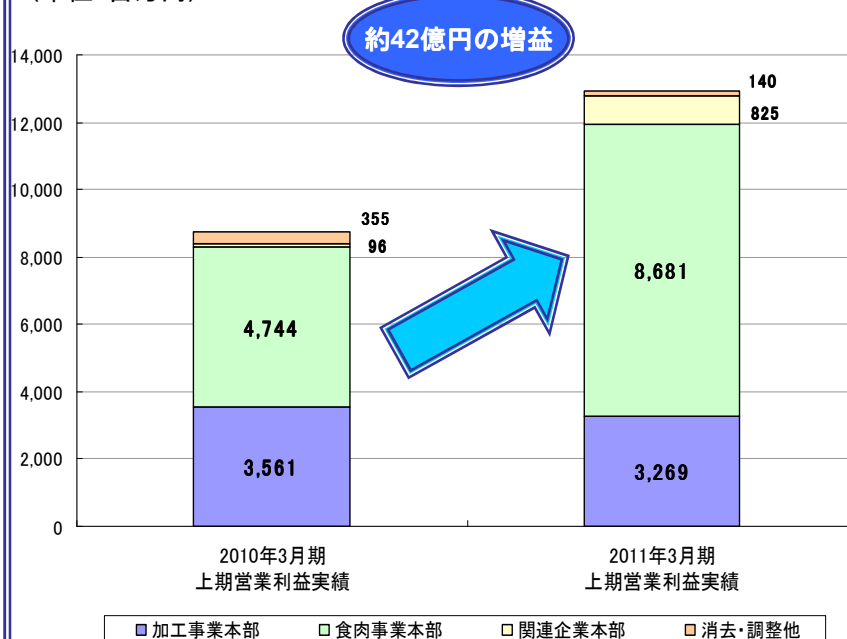


(単位:百万円・%)

4月～9月 累計実績	2010年3月期 上期売上高実績	2011年3月期 上期売上高実績	前年比	前年差
加工事業本部	159,675	163,287	2.3	3,612
食肉事業本部	307,553	318,766	3.6	11,213
関連企業本部	65,427	64,707	△ 1.1	△ 720
消去・調整他	△ 57,682	△ 63,660	-	△ 5,978
連結合計	474,973	483,100	1.7	8,127

【営業利益】

(単位:百万円)



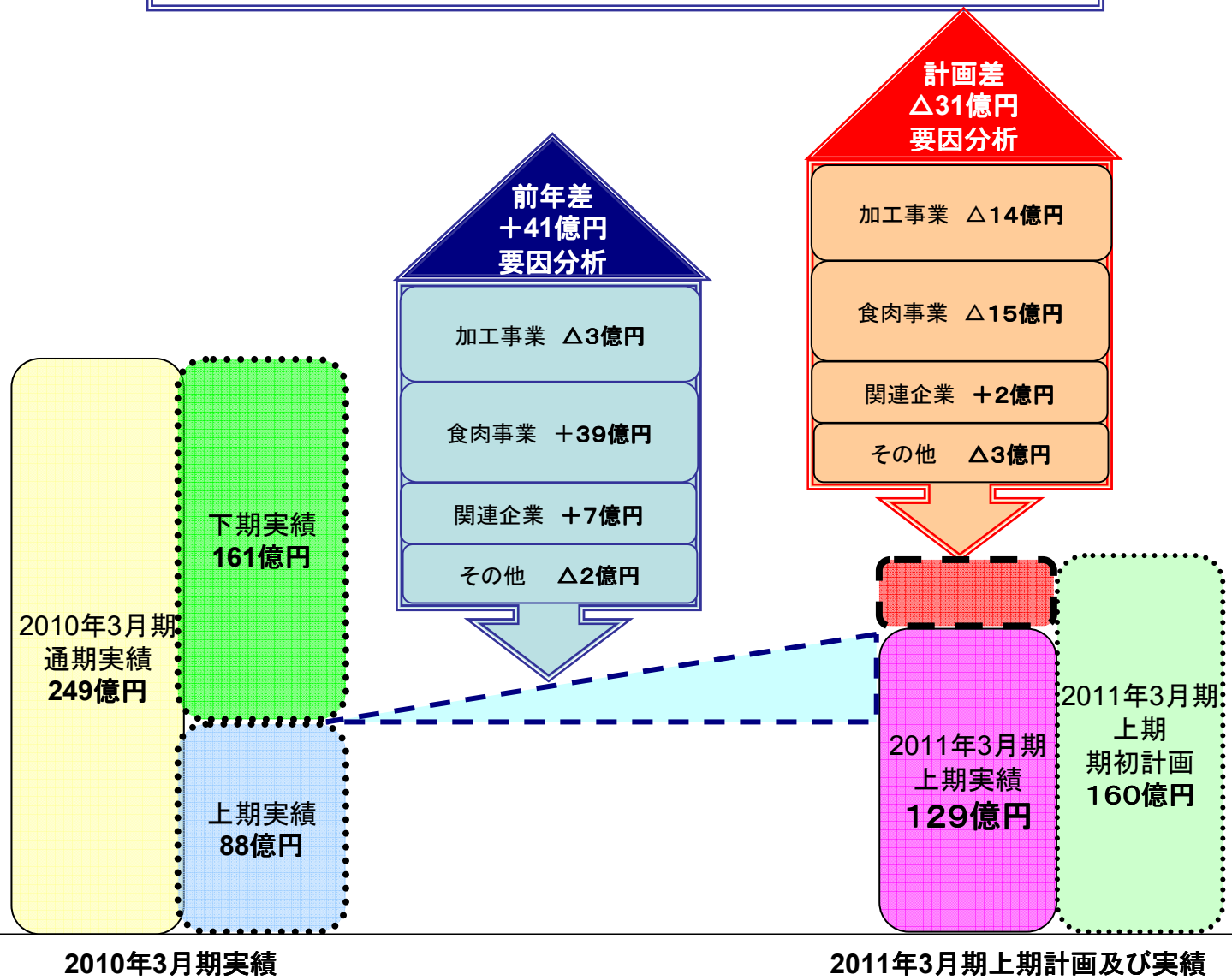
(単位:百万円・%)

4月～9月 累計実績	2010年3月期 上期営業利益実績	2011年3月期 上期営業利益実績	前年比	前年差
加工事業本部	3,561	3,269	△ 8.2	△ 292
食肉事業本部	4,744	8,681	83.0	3,937
関連企業本部	96	825	759.4	729
消去・調整他	355	140	-	△ 215
連結合計	8,756	12,915	47.5	4,159

※オペレーティング・セグメント情報の売上高と、当資料P.17の品種別の売上高の数値は一致しません。

※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。— 4 —

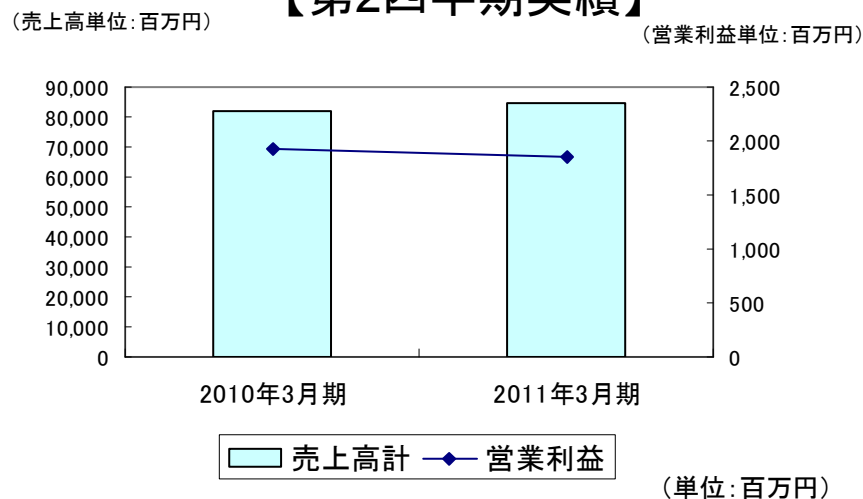
上期営業利益 要因分析



※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます。

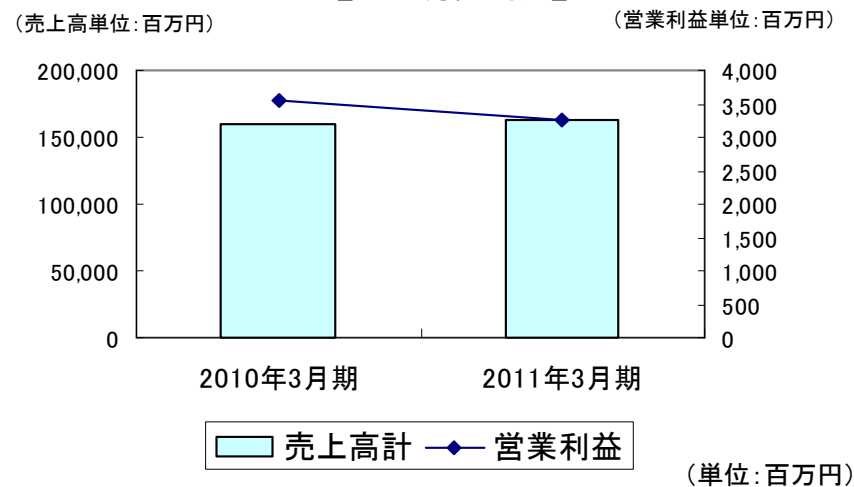
【加工事業本部】

【第2四半期実績】



7月～9月実績	2010年3月期	2011年3月期
売上高計	82,000	84,478
営業利益	1,930	1,857
営業利益率	2.4%	2.2%

【上期実績】



4月～9月累計実績	2010年3月期	2011年3月期
売上高計	159,675	163,287
営業利益	3,561	3,269
営業利益率	2.2%	2.0%

【第2四半期の状況】

- ・売上高は、主に加工食品の業務用商品の販売数量が伸長したこと等により、対前年同期比約3.0%の増収。
- ・営業利益は、ハム・ソーセージ・加工食品ともに販売単価が回復せず、対前年同期差約1億円の減益。

【上期の状況】

- ・売上高は、ハム・ソーセージ、加工食品の販売数量が伸長したことにより、対前年同期比約2.3%の増収。
- ・営業利益は、低価格化の中、販売単価の下落が回復せず、対前年同期差約3億円の減益。

【加工事業本部 営業利益増減要因イメージ】

●2011年3月期の利益増減イメージ

【原料・資材価格の営業利益への影響額】

⇒上期累計で、対前年同期差約14億円のプラス要因

【加工事業本部トータルでの増減額】

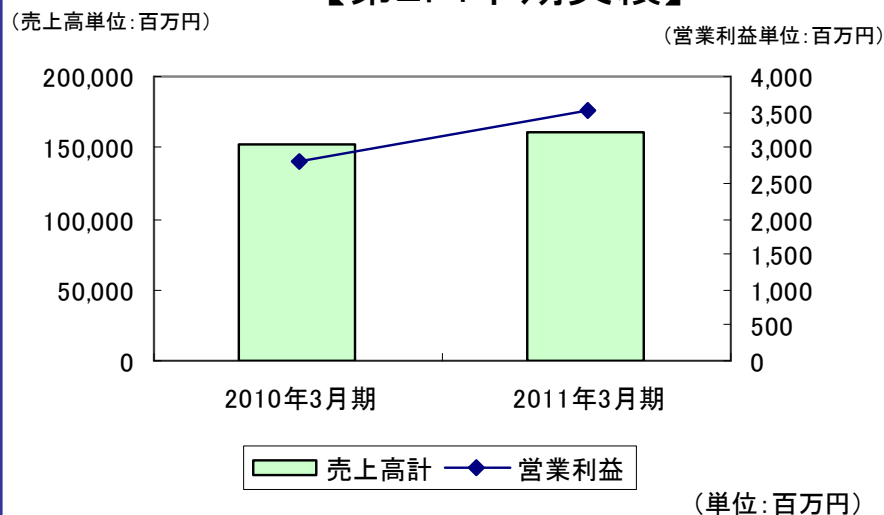
⇒上期累計で、対前年同期差約3億円の減益

【加工事業本部 営業利益増減要因分析イメージ】

	2011年3月期 上期実績
主原料・副資材価格要因合計	14億円
(内訳)主原料価格縮小額	12億円
(内訳)資材価格・物流費等縮小額	2億円
コストダウン要因合計	18億円
製造・営業部門等の改善活動効果額	10億円
売上数量増による効果額	8億円
コストアップ要因合計	△35億円
販促・商品リニューアル等費用額	△21億円
SCM費用効果額	△10億円
その他	△4億円
合計	△3億円

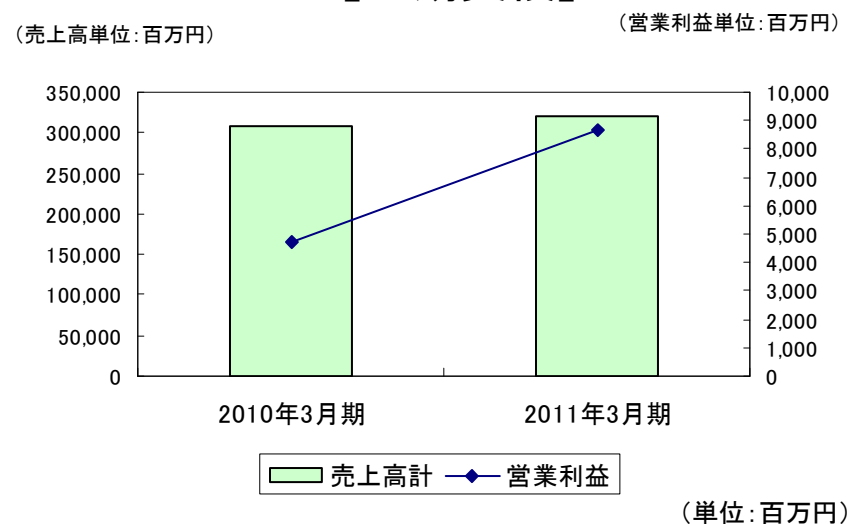
【食肉事業本部】

【第2四半期実績】



7月～9月実績	2010年3月期	2011年3月期
売上高計	151,509	159,529
営業利益	2,803	3,527
営業利益率	1.9%	2.2%

【上期実績】



4月～9月累計実績	2010年3月期	2011年3月期
売上高計	307,553	318,766
営業利益	4,744	8,681
営業利益率	1.5%	2.7%

【第2四半期の状況】

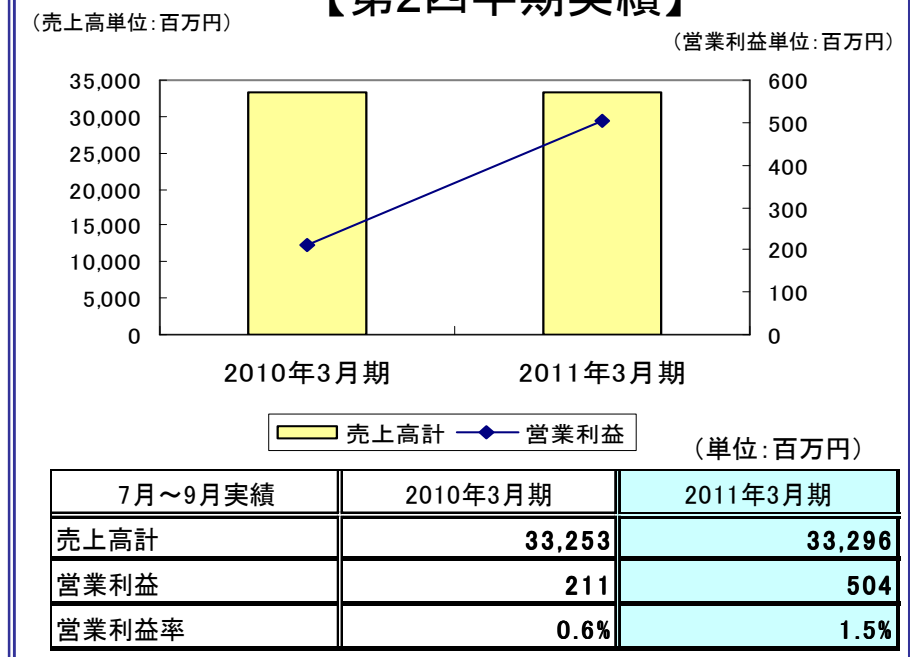
- ・売上高は、国内においては販売数量の増加、海外においては食肉相場の回復等により、約5.3%の増収。
- ・営業利益は、国内川上事業の回復と、販売数量増等により、約7億円の増益。

【上期の状況】

- ・売上高は、国内、海外ともに販売数量の増加等により、約3.6%の増収。
- ・営業利益は、国内川上事業の回復と、輸入食肉の収益改善、米州養豚事業の改善等により、約39億円の増益。

【関連企業本部】

【第2四半期実績】



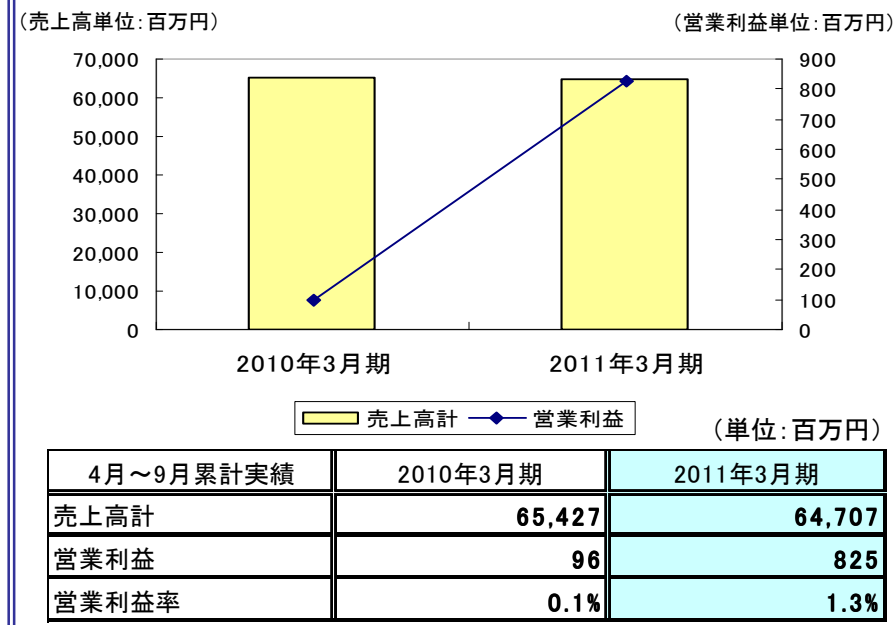
【第2四半期の状況】

- ・売上高は、第2四半期に入ってから水産・乳製品の数量回復等により、ほぼ前年並みとなった。
- ・営業利益は、水産品の量販店チャネルでの販売数量増と、チーズの販売数量増および原料価格の安定により、対前年同期差約3億円の増益。

《参考～主な関連会社の状況～》

	状況
マリンフーズ	売上高はほぼ前年並みだが、増益となった。
宝幸	売上高、利益とも前年を上回った。
日本ルナ	売上高は前年を上回ったが、減益となった。

【上期実績】



【上期の状況】

- ・売上高は、第1四半期は前年割れとなったが、第2四半期は前年並みに回復。累計では対前年同期比約△1.1%の減収。
- ・営業利益は、第1四半期に続き、第2四半期も順調に推移し、累計では対前年同期差約7億円の増益。

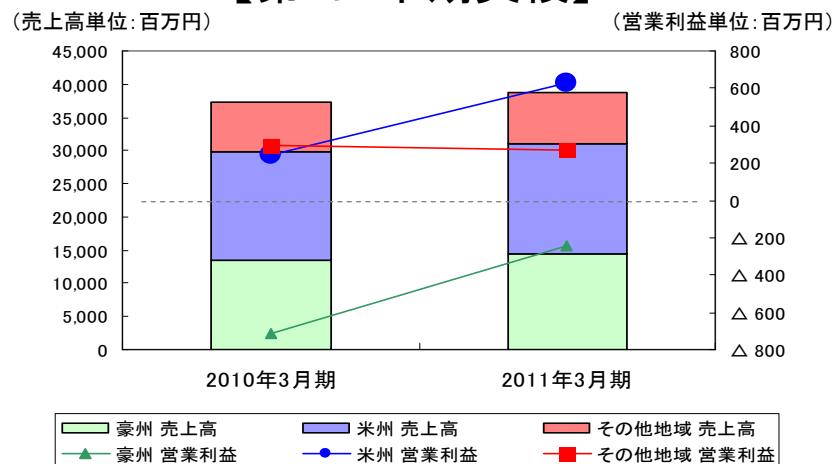
《参考～主な関連会社の状況～》

	状況
マリンフーズ	売上高は前年を下回ったが、増益となった。
宝幸	売上高はほぼ前年並みだが、増益となった。
日本ルナ	売上高、利益とも前年を下回った。

海外 所在地別業績状況

【海外事業】

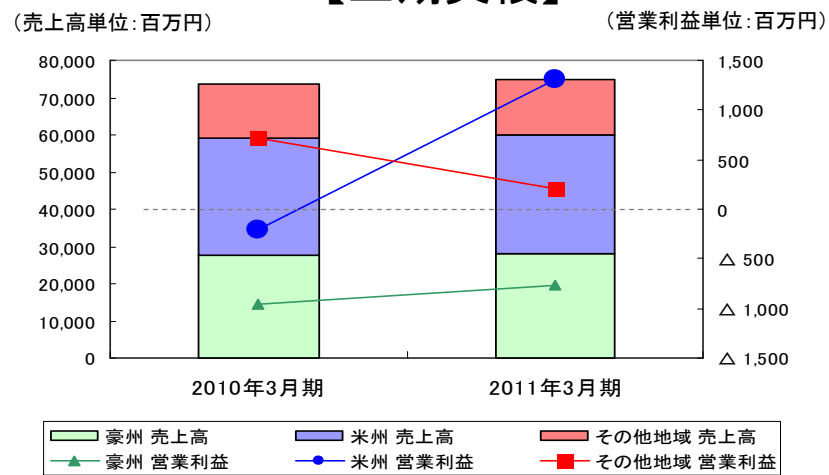
【第2四半期実績】



(単位: 百万円)

7月～9月実績		2010年3月期	2011年3月期
海外計	売上高	36,730	37,862
	営業利益	△ 168	630
豪州	売上高	13,566	14,423
	営業利益	△ 715	△ 248
米州	売上高	16,204	16,543
	営業利益	244	631
その他地域	売上高	7,506	7,870
	営業利益	296	266

【上期実績】



(単位: 百万円)

4月～9月累計実績		2010年3月期	2011年3月期
海外計	売上高	72,168	73,071
	営業利益	△ 448	717
豪州	売上高	27,651	28,120
	営業利益	△ 963	△ 769
米州	売上高	31,509	32,041
	営業利益	△ 214	1,315
その他地域	売上高	14,427	14,693
	営業利益	714	201

※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。(セグメント間取引の消去があるため、海外計は各地域の合計とは一致しません。)

※米州には、北米と南米の事業が含まれます。また、その他海外は、アジア、欧州となっております。

【第2四半期の状況】

- ・売上高は、各地域ともに前年を上回り、海外トータルでは、対前年同期比約3.1%の増収。
- ・営業利益は、米州養豚事業の改善により、対前年同期差約8億円の増益。

【上期の状況】

- ・売上高は、好調な米州に加え、第2四半期に豪州・アジアも売上を伸ばしたため、約1.3%の増収。
- ・営業利益は、米州養豚事業の改善により、約12億円の増益。

2011年3月期 下期以降の見通し

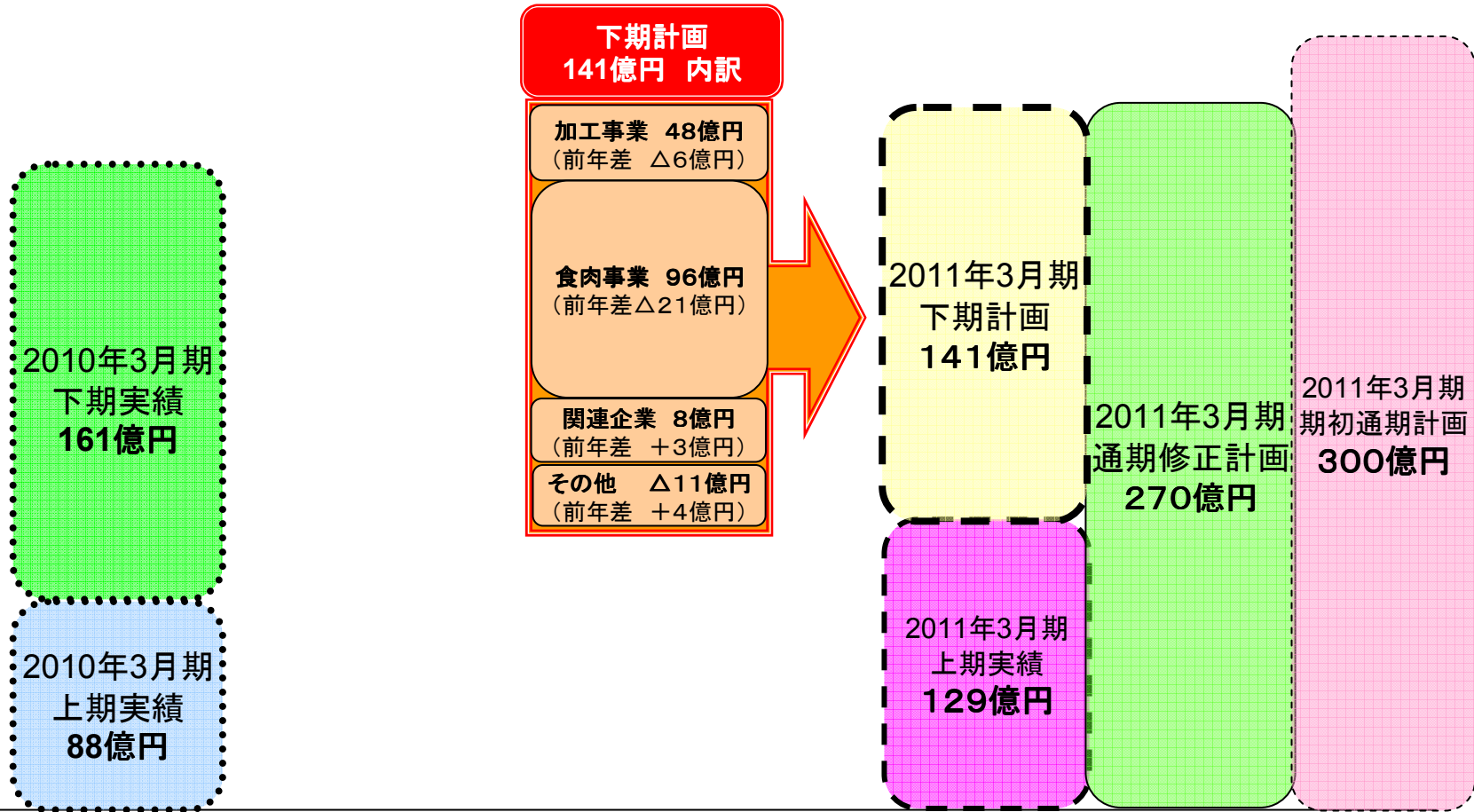
1.2011年3月期 下期事業セグメント別営業利益計画イメージ

2.加工事業本部の見通し

3.食肉事業本部の見通し

4.関連企業本部の見通し

下期営業利益計画 要因分析



2010年3月期実績

	上期累計	下期累計	通期
2010年3月期実績	88億円	161億円	249億円
2011年3月期実績及び計画	129億円	141億円	270億円
対前年差	+41億円	△20億円	+20億円

2011年3月期通期計画

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます。

【加工事業本部 売上拡大施策】

●歳暮ギフトの計画

【ギフト販売個数 10年3月期実績と11年3月期実績・目標】

(単位:千個・%)

	2010年3月期実績	2011年3月期実績・目標	前年比
中元ギフト販売個数	1,926	1,956	102%
歳暮ギフト販売個数	4,813	5,300	110%
合計	6,739	7,256	108%

- ・中元ギフトの着地は、個数ベースで前年比102%となった。
- ・引き続き、旗艦ブランド「美ノ国」の拡販を軸に、歳暮ギフトは、期初の計画通り個数ベースで前年比110%を目指す。

・主要ブランド・新商品の状況

【(参考)2011年3月期上期累計 主要ブランド商品売上高前年比】

シャウエッセン群	100%	中華名菜群	111%
森の薫りウィンナー	97%	石窯工房群	102%
ローズハム群	95%	プリフライ群	102%
ベーコン群	97%	ハンバーグ・ミートボール群	93%

●売上拡大施策

- ①ハム・ソーセージ
 - ・単味品を最重点商品として、展開店舗と売り場の拡大を推進。
 - ・機能性商品を拡販(「チキンマイスター」、「ZERO」等)。
- ②加工食品
 - ・好調な「特蒸焼売」や「チキンフィレ」等の新商品を投入し売上を拡大。
 - ・鍋物、中華名菜など、シーズン需要を捉えた商品の拡大。

●チャンネル別の売上状況

【(参考)2011年3月期上期累計 チャンネル別売上金額伸び率】

	コンシューマ	業務用	計
ハム・ソーセージ	97%	99%	98%
デリ商品	103%	117%	110%

●売上拡大施策

- ・コンシューマは、主カブランドの拡販と、新商品の定着を推進。
- ・業務用は、下期も引き続き、「ウィンナー」、「ハンバーグ」、「から揚げ」等で新チャンネル開拓を推進。

●海外事業の現状

◆豪州事業の現状

⇒世界的な牛肉需要の減退と、豪州国内での牛生体相場の上昇により、厳しい状況が継続。

◆米州事業の現状

⇒上期に上昇した豚価も、秋口からは下落傾向。

●海外事業の見通し

◆豪州事業の見通し

⇒生産部門に於いて引き続きコスト削減策を実施するとともに、輸出部門に於いては、新興国への販売拡大に取り組むも、依然として厳しい環境が続く。

◆米州事業の見通し

⇒下期より、コーン相場の上昇に伴う飼料価格の上昇が見込まれる。豚価も、季節的要因もあり下落傾向。

●国内生産事業の現状

◆飼料価格の現状

⇒上期は穀物相場の上昇があったものの、円高の効果もあり、安定的に推移。

◆国内ファーム事業の現状

⇒鶏肉相場は、第2四半期に入り、季節要因により下落傾向。
養豚事業については、生産性の改善効果もあり、堅調に推移。

●国内生産事業の見通し

◆飼料価格の見通し

⇒9月末からのコーン相場の高騰により、第4四半期より飼料価格は上昇すると見込む。

◆国内ファーム事業の見通し

⇒養鶏事業は、年末の需要期に向けて相場が上昇し、収益も回復傾向。
養豚事業は、前年同期比での相場回復と、生産コストの削減効果により改善見込み。

●販売会社の現状

⇒量販店チャネルを中心に、積極的な拡販を行い、販売数量を拡大。

⇒デフレ環境下における販売価格の下落は、想定範囲内で推移。

●販売会社の見通し

⇒引き続き、量販店および外食チャネルを中心に販売数量を拡大し、シェアアップと利益確保を目指す。

⇒国産牛肉の販売倍増に向けた体制作りや、提案営業によるブランド食肉の販売強化に取り組む。

●水産事業の現状

- ・量販店チャンネルは、順調に売上数量・金額ともに伸長。
- ・外食チャンネルは、価格競争の激化により、売上金額は減少。

【(参考情報)2011年3月期上期累計 マリンフーズ(株)チャンネル別売上伸び率】

	対前年比	
	売上数量	売上金額
量販店チャンネル	108%	104%
外食チャンネル	95%	91%

●今後の方針

- ・量販店チャンネルでの売上を拡大。
- ・マリンフーズ 三重工場での、付加価値の高い「内作品」の拡販への取り組み強化。

●乳製品事業の現状

- ・チーズは、食品メーカー、製パンチャンネル向けの販売が順調に推移し、前年を上回った。
- ・ヨーグルトは、競争の激化等により、数量、金額ともに前年度を下回った。

【(参考情報)11年3月期第2四半期累計 商品別売上伸び率】

	対前年比	
	売上数量	売上金額
チーズ	103%	104%
ヨーグルト	96%	95%

●今後の方針

- ・チーズは、引き続き食品メーカー、製パンチャンネルへの販売数量拡大を推進するとともに、コンシューマ向けの販売にも本格的に着手。
- ・ヨーグルトは、コンビニエンスチャンネル向けに、付加価値の高い新商品を投入し、販売数量を拡大。

●主原料・副資材価格の動向

- ・チーズ原料は、上期は安定的に推移。
- ・ヨーグルト原料については、上期は、国産、輸入品ともに安定。

●今後の見通し

- ・下期も安定的に推移する見込み。
- ・ヨーグルト原料については、国産、輸入品ともに安定的に推移する見込み。

2011年3月期 第2四半期財務データ

1. 2011年3月期第2四半期連結業績概要
2. 2011年3月期 連結売上区分伸び率

2011年3月期第2四半期連結業績概要《所在地別セグメント状況》

3. 販管費・その他収益・その他費用
4. 貸借対照表、設備投資額・減価償却費
5. 連結キャッシュフロー、経営指標

2011年3月期第2四半期連結業績概要

(単位:百万円、%)

《連結業績》	2010年3月期実績			2011年3月期実績および計画					
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	前年比	下期計画	前年比	通期計画	前年比
売上高	474,973	478,643	953,616	483,100	1.7	496,900	3.8	980,000	2.8
ハム・ソーセージ	66,636	70,913	137,549	64,654	△ 3.0	69,346	△ 2.2	134,000	△ 2.6
加工食品	92,655	96,215	188,870	97,438	5.2	101,562	5.6	199,000	5.4
食肉	250,498	245,602	496,100	259,688	3.7	261,312	6.4	521,000	5.0
牛肉	95,202	85,902	181,104	93,422	△ 1.9	93,578	8.9	187,000	3.3
豚肉	92,998	92,735	185,733	97,314	4.6	96,686	4.3	194,000	4.5
鶏肉	50,229	55,540	105,769	56,791	13.1	58,209	4.8	115,000	8.7
その他食肉	12,069	11,425	23,494	12,161	0.8	12,839	12.4	25,000	6.4
水産	39,908	42,662	82,570	38,963	△ 2.4	42,037	△ 1.5	81,000	△ 1.9
乳製品	11,344	10,641	21,985	10,941	△ 3.6	12,059	13.3	23,000	4.6
その他	13,932	12,610	26,542	11,416	△ 18.1	10,584	△ 16.1	22,000	△ 17.1
売上原価	380,453	374,539	754,992	386,773	1.7				
売上総利益	94,520	104,104	198,624	96,327	1.9				
売上総利益率	19.9%	21.7%	20.8%	19.9%	-				
販売費及び一般管理費	85,764	88,005	173,769	83,412	△ 2.7				
営業利益	8,756	16,099	24,855	12,915	47.5	14,085	△ 12.5	27,000	8.6
税引前利益	8,520	15,504	24,024	11,358	33.3	11,642	△ 24.9	23,000	△ 4.3
当社株主帰属当期純利益	5,405	10,316	15,721	6,782	25.5	6,218	△ 39.7	13,000	△ 17.3

* 米国会計基準を組替えて表示しております。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

2011年3月期第2四半期連結業績概要 《 連結売上区分別伸率、所在地別セグメント状況 》

【連結売上区分別伸び率】

品 種	2011年3月期 連結第2四半期実績伸び率		2011年3月期 連結上期実績伸び率	
	数 量	金 額	数 量	金 額
ハム・ソーセージ	101.0%	97.9%	101.2%	97.0%
加工食品	109.6%	103.7%	111.3%	105.2%
食肉	102.7%	105.3%	103.2%	103.7%
牛肉	99.9%	101.0%	98.5%	98.1%
豚肉	98.9%	105.3%	101.2%	104.6%
鶏肉	111.1%	115.1%	110.7%	113.1%
その他食肉	99.0%	100.2%	99.0%	100.8%

【所在地別セグメント状況】

(単位:百万円、%)

《連結業績》	2010年3月期実績			2011年3月期実績および計画					
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	前年比	下期 計画	前年比	通期 計画	前年比
《所在地別セグメント情報》									
国内売上高	442,465	450,898	893,363	448,901	1.5	465,099	3.1	914,000	2.3
外部顧客売上高	442,215	450,657	892,872	448,638	1.5	464,862	3.2	913,500	2.3
セグメント間内部売	250	241	491	263	5.2	237	△ 1.7	500	1.8
国内営業利益	9,487	13,636	23,123	11,840	24.8	13,660	0.2	25,500	10.3
国内売上高営業利益率	2.1%	3.0%	2.6%	2.6%	-	2.9%	-	2.8%	-
海外売上高	72,168	66,492	138,660	73,071	1.3	71,929	8.2	145,000	4.6
外部顧客売上高	32,758	27,986	60,744	34,462	5.2	32,038	14.5	66,500	9.5
セグメント間内部売	39,410	38,506	77,916	38,609	△ 2.0	39,891	3.6	78,500	0.7
海外営業利益	△ 448	2,550	2,102	717	-	483	△ 81.1	1,200	△ 42.9
海外売上高営業利益率	-	3.8%	1.5%	1.0%	-	0.7%	-	0.8%	-

* 所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。 - 18 -

連結業績概要 《 販管費・その他収益・その他費用 》

(単位:百万円、%)

《販管費》	2010年3月期	上期実績	2011年3月期	
	上期実績		対前年増減率	対前年増減額
★① 販売費及び一般管理費	85,764	83,412	△ 2.7	△ 2,352
人件費	34,619	33,605	△ 2.9	△ 1,014
★② 広告宣伝費	6,332	5,484	△ 13.4	△ 848
★③ 物流費	17,569	18,375	4.6	806
その他	27,244	25,948	△ 4.8	△ 1,296

主な増減要因

- ★①販管費計 : 前年同期差約24億円減少。販管比率は、18.1%から17.3%と、0.8ポイント減少。
 ★②広告宣伝費 : TVCMも含めた販促活動の効率化により、前年同期差約8億円減少。
 ★③物流費 : 販売数量の増加等により、運賃が前年同期差約8億円増加。

(単位:百万円、%)

《連結その他収益・その他費用》	2010年3月期	上期実績	2011年3月期	
	上期実績		対前年増減率	対前年増減額
その他収益合計	3,246	645	△ 80.1	△ 2,601
受取利益・配当金	327	278	△ 15.0	△ 49
為替差益	2,898	-	-	△ 2,898
その他	21	367	-	346

支払利息	1,061	1,069	0.8	8
その他費用合計	2,421	1,133	△ 53.2	△ 1,288
有価証券売却損・評価損	1,697	206	△ 87.9	△ 1,491
固定資産減損	425	136	△ 68.0	△ 289
★① 為替差損	-	539	-	539
その他	299	252	△ 15.7	△ 47

主な増減要因

- ★①その他費用 : 為替差損は主として海外子会社の円建て借入金換算差損。

連結業績概要 《 貸借対照表、設備投資額・減価償却費 》

(単位:百万円、%)

《連結貸借対照表》	2010年3月期 期末実績	2011年3月期 第2四半期末実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
資産合計	604,201	606,946	0.5	2,745
現金及び現金同等物	43,518	43,264	△ 0.6	△ 254
★① 売上債権	100,366	102,599	2.2	2,233
★② 棚卸資産	100,545	114,978	14.4	14,433
投資及びその他の資産	29,950	28,230	△ 5.7	△ 1,720
有形固定資産	227,081	222,580	△ 2.0	△ 4,501
長期繰延税金資産	15,617	15,752	0.9	135
負債合計	330,239	333,086	0.9	2,847
支払手形及び買掛金	84,124	91,999	9.4	7,875
★③ 有利子負債	187,585	185,357	△ 1.2	△ 2,228
退職金及び年金債務	16,128	15,507	△ 3.9	△ 621
当社株主資本	271,908	271,861	△ 0.0	△ 47
非支配持分	2,054	1,999	△ 2.7	△ 55
資本合計	273,962	273,860	△ 0.0	△ 102

主な増減要因

- ★①売上債権 : 季節変動要因により、前期末比約22億円増加。
前年同期差では、売上金額の増加に伴い、約15億円増加。
- ★②棚卸資産 : 季節変動要因により、前期末比約144億円増加。対前年同期差では、約17億円増加。
- ★③有利子負債 : 長期借入金の約定返済等により、約22億円減少。

(単位:百万円、%)

《設備投資額、減価償却費》	2010年3月期		2011年3月期		2011年3月期 通期計画
	第2四半期実績	第2四半期実績	対前年増減率	対前年増減額	
設備投資額	10,431	8,076	△ 22.6	△ 2,355	25,900
生産設備	5,446	3,725	△ 31.6	△ 1,721	10,200
販売・物流設備	1,180	948	△ 19.7	△ 232	5,000
ファーム・処理設備	1,523	1,647	8.1	124	5,000
海外事業設備	375	974	159.7	599	3,100
その他設備	1,907	782	△ 59.0	△ 1,125	2,600
減価償却費	11,796	11,821	0.2	25	24,500

連結業績概要 《 連結キャッシュ・フロー、経営指標 》

(単位:百万円)

《連結キャッシュ・フロー計算書》	2010年3月期	2011年3月期	
	第2四半期末実績	第2四半期末実績	対前年増減額
営業活動キャッシュ・フロー	25,736	5,820	△ 19,916
投資活動キャッシュ・フロー	△ 8,960	△ 1,282	7,678
財務活動キャッシュ・フロー	△ 6,594	△ 4,172	2,422
純キャッシュ増(△減)	9,712	△ 254	△ 9,966

(単位:百万円、%、倍)

《B/S 経営指標》	2010年3月期	2011年3月期	
	第2四半期末実績	第2四半期末実績	対前年増減額
総資産	588,192	606,946	18,754
有利子負債	167,682	185,357	17,675
ROA(税引前、%)	1.5	1.9	-
D/ELシオ(倍)	0.61	0.68	-

〒141-6014 お問合せ先
東京都品川区大崎2-1-1
ThinkPark Tower 14階
日本ハム株式会社 広報IR部
電話:03-6748-8024
FAX:03-6748-8189

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。